



えいなん

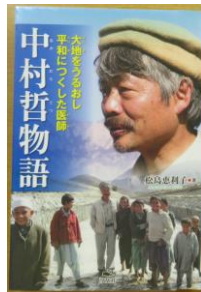
あと夏休みは10日です！

今日は出校日です。久しぶりに、子どもたちの明るい元気な姿を見ることができてとても嬉しいです。今日の出校日でほとんどの宿題を提出し終わり、残りの10日間をどのように過ごすのでしょうか？

ぜひ、みんなにやってほしいのは読書です。今年の課題図書をまだ読んでいない人はぜひ読んでください。（先生は12冊中、10冊読みました）どれも、本当に考えさせられる内容でした。高学年へのお勧めは「中村哲物語」です。こんな素晴らしい日本人がいたことを知ってほしいし、平和とか幸せについて考えてほしいです。でも、みんなが身近に考えられる本は「ふたりのえびす」かな。中学年の本は2冊しか読めませんでした。他に「化石のよぶ声がきこえる」「給食室のいちにち」があります。だから一番を決められませんでした。



低学年にお勧めの本ですが、1年生には「うまれてくるよ海のなか」2年生には「けんかのたね」を読んでもらいたいなと思いました。読書をして、残りの休みを充実したものにしてください。



夏休みの先生達は・・・

将来大人になって成長し、仕事に就きますね。そんな仕事の中で将来「教師」になりたいと思っている子どもたちに、夏休み中の教師の仕事を紹介します。

この頃、よく新聞で教師の長時間労働が問題視されています。実際、1か月の在校時間は100時間なんていうのはざらにありました。授業の準備・会議・行事の準備・生徒指導・部活などなど・・・やることはいっぱいあります。栄南小学校ではないのですが、以前勤めていた学校では、地域の子どもに対する苦情が入り対応を迫られたこともありました。大変なこともいっぱいありましたが、それでも教師を続けてこられたのは、子どもの笑顔・「分かった」と言っている姿・「先生でよかった」と言ってくれた保護者の言葉など、大変な中でもやりがいがあったからです。そして「夏休み」。先生は子どもあつての仕事なのですが、いないときにしかできない仕事もあります。一番は研修と教材研究。指定される研修もありますが、自分で興味をもった講座に参加したり、授業をどうやって進めようかなと考えたりします。職員作業で草取りをしたり、備品を整備したりもします。その他は、提出する文書がとてたくさんあるのでそれを作成したり、レポートを書いたりします。映画やコンサート・旅行に行っておでんを食べて心身をリフレッシュもしますが、ふとしたときに「これ使えるな」なんて思います。職業病ですね。